

篠原小学校コミュニティ・スクール

～『好きです、篠原』といえる子どもを育てよう～



今年度の取組

● 地域の遺産を学ぼう

夕日丘、田中山、伊勢道峠への道、古墳など篠原にはたくさんの歴史、文化の遺産があります。これらを次の世代へつなぎ継承していくためにはどうしていくかコミスクで話し合われました。

● 情報発信と地域人材の発掘

篠原の地域には、退職教員やレイカディア大学卒業後の方など、協力してくださりそうな人材が豊富です。もっと広く協力していただく手段についても話し合われました。

● 学校行事と地域行事の共同開催

篠原焼、田んぼの学校、わくわくコンサートなど地域と協働で、子どもたちの行事に関わっていくことを確認しました。

● コミスクおしゃべり会

「気軽に話す、かたいこと抜きで」とワクワクしながら話す場づくりが、長く続くコツ。ゲストも入れながら、進めていきます。

「篠原」の地域を子どもも教職員も知り、地域の文化を継承していこう！「体験」は大切！



昨年からの取組の「コミスクおしゃべり会」や「教職員、地域を学ぶ」研修会を開いて取り組んできた経緯について、副会長から説明がありました。地域と距離が近くなり、また、4月に、教職員と地域の方で縦割り遠足の下見に行ったことも振り返りながら検証しました。

また、子どもにつけてほしい力について、「『体験』って大事。昔は、キャンプで泊まり楽しかった思い出がある」など今の子どもたちにも感じてほしいことがたくさんある、と当時を思い出しながら、子どもにつけたい力を話し合いました。

今年度の課題「働き方改革」について、教員の負担軽減は、「子どもの教育につながる」ことを確認しながら、どう取り組むべきか、ホワイトボードに、地域学校協働活動推進員がまとめ、みんなで共有しました。



どんな子どもに？「自分で考え、思考し、粘り強くやってみることができる子ども」

「篠原の地域を誇りに思い、『好きです、篠原』といえる子ども」